

甲南学園平生太郎基金科学研究概要

研究課題	高水溶性 β -グルカンナノ粒子への包接を利用したポリフェノールの生体吸収性の向上
研究代表者	甲元 一也（フロンティアサイエンス学部 教授）

現代人の多忙な日常や偏食、過度なダイエットは『現代版栄養失調』を引き起こしている。十分なカロリーを摂取しているにも関わらず健康が損なわれるこの問題に対して、サプリメントは有効な解決手段とされる。研究代表者は、免疫力を高めることで知られる食品素材 β -グルカン を簡便にナノ粒子（ナノカプセル）化する技術、さらに、その内部に難水溶性の食品有効成分を内包させ、これまで水に溶かすことができなかったそれらの成分の水溶性を数十倍から数百倍高める画期的な技術を開発した。本研究では、このナノカプセルに健康増進効果が高いことで注目を集めるポリフェノールを内包させ、その生体吸収性や抗酸化活性といったポリフェノールの機能性が包接によってどのように変化するか調査、検討することを目的として研究を進めている。得られた成果は、極少量の摂取でも多大な健康増進効果をもたらす新しいサプリメントの開発につながるものと期待される。

